

報道発表

平成30年4月20日
名古屋税関
中部空港税関支署

平成30年3月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年3月分について、輸出は「半導体等電子部品」、「通信機」などが減少したもの、「自動車の部分品」、「自動車用等の電気機器」、「電気計測機器」などが増加したことから対前年同月比17.4%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」、「医薬品」などが減少したものの、「原動機」、「電気計測機器」、「半導体等製造装置」などが増加したことから、同5.2%の増加となった。

その結果、差引額は35億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	912億円	+17.4%	878億円	+5.2%	35億円	—
	11カ月連続の増加		9カ月連続の増加			↗

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	85億円	+157.3%	輸入	増加品目	(1) 原動機	93億円	+121.5%
		(2) 自動車用等の電気機器	26億円	+151.8%			(2) 電気計測機器	44億円	+78.3%
		(3) 電気計測機器	78億円	+24.8%			(3) 半導体等製造装置	15億円	+317.8%
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	61億円	▲19.4%		減少品目	(1) 有機化合物	34億円	▲55.1%
		(2) 通信機	6億円	▲66.4%			(2) 医薬品	105億円	▲20.0%
		(3) 医薬品	10億円	▲34.1%			(3) 衣類及び同附属品	29億円	▲19.2%
	主要地域 増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少				主要地域 増減	アメリカ、アジアが増加、EUは減少		

（参考）ドルレートは、106.56円（前年同月比6.3%、7.16円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。